

Buddhist ruins exploration record at silk road シルクロード仏教遺跡探訪記

9日目【2000年4月22日】

巨大石仏に圧倒される〈天水〉前半

今朝は十時過ぎに起床した。ホテルで朝食をとり(注文をしなくて済むから楽である)、午前中に観光しようと思うも、全て出来なかった。お陰で昨夜の疲れが取れた気がする。

こんな田舎町の天水に、なぜ来たかと言うと、ここは中国四大石窟の一つ、麦積山石窟があるから。麦積山という山に、後秦(西暦384年~417年)から清(西暦1616年~1912年)まで十数代の王朝にわたって、蜂の巣状に作られた仏教石窟である。

五世紀初めの開窟以来、最盛期には石窟数が千を超えたという説もある。麦わらを積み重ねた形に似た、高さ142メートルの山に現存する194の石窟には、七千体を超える仏像や石刻像、

1300平方メートルにもおよぶ仏教壁画が残されている。なんと16メートルの巨大な阿弥陀仏から、10センチの可愛い人物像まであった。

事前に観光ガイドブックで見ると、実際に行ったら断崖絶壁の階段を上り下りして、間近で見るとでは大違いだった。天水市内のホテルからタクシーで1時間半、距離にして約45キロ。舗装されていない道を、ただひたすら砂埃をあげてタクシーは進んだ。おそらくもう来る機会はないと思う。自分の目で実際に見た光景を、心に焼き付けておいた。また一つ、心の中に宝物が出来た気がする。



巨大な阿弥陀仏



麦積山石窟の全景



蜂の巣状に作られた仏教石窟

住職レター

三月七日の昼席、八日の朝席と昼席にて、善教寺仏教婦人会報恩講と総会、無事に勤め終えることが出来ました。法要のご講師は、光明寺(奈良県)の三浦真証先生。実は、三浦先生には、来年も来て頂きます。

来年は、東広島組仏教婦人会連盟大会を、善教寺で法要開催しなくてはなりません。東広島には浄土真宗寺院が二十二寺あり、各寺で持ち回り開催しております。ゆえに、十二年に一度、この法要開催を引き受けることとなります。

令和八年度、東広島組仏教婦人会連盟大会の記念法要講師として、三浦真証先生に来て頂くことになりました。

開催日は、来年(令和八年)六月六日(土曜日)ですから、今からご予約ください。

二十二年前の前回、準備が大変だったことが、今でも思い返されます。東広島組仏教婦人会連盟の役員さんを中心に運営され、献花・献灯・献香の予行演習から司会進行の練習、何度も善教寺へ集合して、打ち合わせを重ねました。そして一番大変だったのは、協賛広告集め。近隣で会社経営されている業者、店舗、酒屋

を廻って、協賛広告のお願い行脚をしました。当時の私は、まだ若かったせいか、これが大変な苦痛で。人様からお金を頂戴するのが、これほど大変な事なのかと、身をもって知り得た、とても貴重な体験でありました。

今は、協賛広告集めも無くなり、各寺の負担はかなり軽減されたようです。法要を開催するには、大変な気苦労も多いかと思いますが、善教寺仏教婦人会役員の皆さんと一緒に、良き思い出が作れるよう、今から楽しみにしています。



仏婦総会の様子



広橋仏婦会長の挨拶

Buddhist ruins exploration record at silk road
シルクロード仏教遺跡探訪記

9日目【2000年4月22日】 全37日間
巨大石仏に圧倒される〈天水〉後半

さらに道なき道を10キロほど行き、仙人崖へ。古来より仙人が出没する場所として有名なところで、幅約70メートル深さ8メートルの岩穴に、明代に創建された蓮花寺がある。

確かにこんな山奥には、仙人くらいしか来ないだろうと思えるところであった。タクシーの運転手が、「車で行けるのは、ここまでだから、一人で来て」と言った。どれくらい歩くのか？と聞くと、変な笑顔を作って近い近いと返答。一瞬、行くのを止めておこうかと思った。そしてその予感は正しかった。

仙人崖の山の入口まで歩いて30分。そこから山道をなんと1時間。まるで登山だ、こんな筈ではなかったと思いつつ、やっと到着した。それにしても、こんなところに、どうやって建てたのか。それも重機など無い、数百年も前に。



蓮花寺

帰り道もやはり1時間半、タクシーに戻った時には疲労困憊であった。

ホテルに帰り、もう次の都市に出発の準備をする。荷物の整理等は慣れたものである。少し前には、気持ちに余裕がなかったのだが、ここ数日で、随分凶太くなった。

今夜23時発の寝台列車で蘭州まで行く。到着は翌朝7時頃の予定。今日の歩き疲れで、しっかり睡眠がとれて気付くと朝を迎えているであろう。蘭州は比較的都会らしいので、インターネット接続は、恐らく問題ないと思う。



仙人崖



仙人崖の全景

「永代経」 (善教寺本堂)

四月 五日 (土)

午前十時～ 朝席
午後一時半～ 昼席

講師 海谷真之師

(江田島市能美町光源寺)

「宗祖聖人月忌」

「門信徒祥月命日法要」 (善教寺本堂)

四月 十六日 (水)

午後一時半～

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「安居会(夏の法要)」 (善教寺本堂)

六月 十四日 (土)

午前十時～ 朝席
午後一時半～ 昼席

講師 堀靖史師

(東広島市志和町光源寺)

今後の法要スケジュール



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp